

2024年4月19日

公益社団法人 北海道観光振興機構
会長 小金澤 健司

帯広市と「楽天競馬」を運営する競馬モールにおける 観光検討会議の発足に寄せて

北海道観光は、昨年9月に「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット 北海道・日本」が開催されるなど、大きく注目を集めています。10月には、北海道への来道者数もコロナ前水準を単月で上回っており、北海道観光の需要は今後ますます高まっていくものと予測しています。

観光は、宿泊業のみにとどまらず、飲食業や運輸業、農業、水産業など幅広い産業に波及効果がある総合産業であり、地域に仕事を生み、地域経済の力となります。一方、観光による経済効果を最大化するためには、更なる周遊観光の促進が必要不可欠でありまして、帯広市においてはその中の目玉の一つが「北海道遺産」でもある「ばんえい競馬」であると言えます。ばんえい競馬は、皆様もご存じの通り世界で唯一の競技であり、文字通りこの帯広の地でしか体験ができない世界で唯一の観光資源とも言えます。

帯広の地には、このばんえい競馬を目的に来帯したお客様に向けて「フードバレーとかち」の取り組みをはじめ、自然や豊かな食・アウトドアといった帯広・十勝エリアのファンになっていただくためのポテンシャルがあるアクティビティが多数あります。

帯広市・楽天競馬による観光検討会議は、競馬ファンがばんえい競馬の応援を超えてこの帯広・十勝エリアのファンとなって頂くことを目的としており、更なる観光誘客につながるもので、大いに期待を寄せたいと考えております。

帯広市の魅力がより効果的に発信され、そこに楽天グループの強みが加わる本取り組みが、より発展していくことを祈念いたしまして私からの挨拶とさせていただきます。